

緑化だより

No.30 平成20年8月号



アゲハチョウ：平成19年9月8日撮影

- きのこのない食卓なんて
- 樹のあれこれ
- 研修会・イベント報告

- 研修会・イベント紹介
- 花だより
- お知らせ・案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



きのこのない食卓なんて

『第5話 制ガン作用について(2)』

マンネンタケは、乾燥させると長い年月にわたって原型を保存できることから万年茸という和名がつけられています。野生のマンネンタケを見つけた時は思わず見とれてしまいます。誰かがキノコにニス塗っていたはずらをしたのかと思うほどつやがあり、天然のものとは思えないのです。広葉樹の枯れ木に発生します。人工栽培もされています。

中国では最古の薬書といわれる「神農本草書」の中で、はっきり薬効のあるキノコとして記されています。しかもその中でも最高位にランクされています。現代科学の研究でも、コレステロールの低下や、高血圧の抑制、ガン治療においても何らかの効果があるといわれています。でも医薬品として取り扱われず、健康食品にとどまっているのには原因があるようです。それは栽培する場合、同じ種菌でも栽培条件のわずかな違いによって、キノコの内容成分もばらついてくるからです。

日本では昔から、このキノコを採ったり、ましてや庭に生えたりすれば必ず幸せが訪れるとされた縁起の良いキノコとされてきました。



マンネンタケ

樹のあれこれ 『エノキ』

ニレ科ネムノキ属

園内では、ファミリー広場上り口や緑の相談所横の東屋付近にあります。木へんに夏と書いて『榎』は、夏に合う木の一つです。

江戸時代に街道に松とともに植えられ、一里塚のエノキとして残っています。夏の暑い時期によく茂り、涼しい木陰をつくり、旅する人に休息を与えました。

万葉集に恋人を待つ歌「我が門の 榎の実もり食む 百千鳥千鳥は、来れども 君そ来まさぬ」と歌われています。古くから身近にあった樹木のようにです。今でも町名に榎町が残っているところが多くあります。

葉は、左右不対称で上部3分の1ほどに小さな波状の鋸歯があるか全縁です。また、国蝶オオムラサキの幼虫の餌になります。果実は、秋に赤く熟します。昔は子供が食べていたようですが、今では小鳥だけが好んで食べています。



エノキの葉



結実

研修会・イベント報告

7月13日(日) 『夏のきのこ教室』

きのこを採取して名前や食毒を、きのこアドバイザーに指導してもらい『夏のきのこ教室』を実施しました。第3駐車場に集合し、受付と簡単な説明の後、散開してそれぞれがきのこを採取し、昼過ぎに学習室に持ち寄って鑑定を行いました。

最近、雨が降っていないので山が乾燥しており、きのこが取れないのではと心配しましたが、昼過ぎに、きのこを持って受講者が学習室に集まると、机の上は色んな種類のきのこで埋まりました。

採取されたきのこは、アカヤマドリ・アマタケ・オオツルタケ・タマゴタケ・チチタケ・ツチナメコ・テングタケ・フクロツルタケ・ベッコウタケなど64種類に上りました。採取したきのこで味噌汁やパスタ、ピザなどを作ると子供達から、ちょっと見なおされるかもしれません。ただし、類似したものもありますので、自信のないものは緑化センターのきのこアドバイザーに相談してからにしましょう。



きのこ鑑定会状況



研修会実施状況

研修会・イベント紹介

○8月8日(金) 『8月の自然探勝』 10:00~12:00 管理事務所前集合

講師:植物研究家 中塚 道則 先生

毎月、第2金曜日に実施している植物観察会です。今回はさくらの森コースを歩き、タムシバやホオノキ、ウグイスカグラ、コツクバネウツギなどの植物を観察する予定です。また、この秋に熟す若い果実もはっきり分かるようになり、形や大きさなども観察する予定です。暑い時期なので飲物等をお持ち下さい。

○8月24日(日) 『木の実を使って工作しよう』 10:00~12:00 学習室 要予約

講師:森林インストラクター 宮本 寿美敏 先生

どんぐりなどの木の実を使って動物など色々なものを作ってみませんか。時間が限られているので難しいものは無理ですが、作り方やコツを覚えてオリジナル作品を作ってみてください。夏休みの宿題で何を作ろうかと悩んでいるお子さんがいたら一緒に参加されてはいかがでしょうか。



花だより

クサギ クマツヅラ科クサギ属

暑い中でも可憐な花を咲かせるクサギです。臭木と書き、その名のとおり、枝や葉を揉むと強い臭気がして、一度嗅ぐとすぐに覚えてしまうほどの独特の香りです。観察会などではすぐに名前を覚えてもらえる樹木の一つと言えます。

葉は独特の香りですが、花は良い香りです。チョウなどの昆虫もたくさん集まってきて、花の少ない夏に咲く貴重な樹木と言えます。香りの嗜好は、個人差があるので、花の香りを体験してみてください。センターでは8月上旬頃から花を咲かせます。

果実は秋に熟し、紅色の萼と藍色の果実がよく目立ちます。これは、生育範囲を広げるために野鳥にアピールしているのではという見解もあります。

若葉は山菜に、果実は草木染めに、葉・小枝・根は薬用に、材は下駄などに利用されています。殺菌作用が強いようで、腫れ物やできものなどに効果があるようです。葉の臭いは茹でたり蒸したりするとなくなり、各地方で色々な料理に利用されています。先日、『子供の頃に食べたことがあるけど、どんな樹木だろうか』と聞きに来られた方もいました。



クサギの花



クサギの果実 H19.9.22 撮影

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

○世界のチョウ展

7月26日(土)～9月7日(日):国蝶のオオムラサキやモルフォチョウ、シジミチョウなど世界各地で採取された様々な貴重なチョウの標本を展示します。この機会にぜひご覧下さい。

○木の実を使った作品展

7月26日(土)～9月7日(日):ドングリなどの木の実を使って作られた作品を展示します。自然の素材を利用し、一つ一つ丁寧に作られた作品です。

○季節のきのこ展 園内で採集した本物のきのこを展示しています(常設展示)

◎ 夏休みの土日の閉園時間について

夏休みの土日(7/26,27,8月の土日)は、通常より1時間延長して、17時まで開園します。昆虫探しや溪流路などで、ご家族・友人との休日をゆっくりお過ごし下さい。

◎ 緑化研修会 開催日変更のお知らせ

9月21日(日)に予定していた『接ぎ木や挿し木を学ぼう』は、9月14日(日)に変更になりました。時間、場所は変更ありません。(10:00～12:00、学習室)